

Ⅱ 基本構想・基本計画

■総合計画基本構想

「人が集い新しいことにチャレンジできる、魅力ある農山漁村を形成し、豊かな食文化を支える農林水産業の生産拡大と所得向上を実現します」

■水産分野の目的

「水産物の安定供給と漁村の活性化」

これまで守り育ててきた自然や食文化を支えている基幹産業の一つである水産業を維持・発展させていくため、水産物の安定供給と漁村の活性化に向けた担い手の確保、漁港などの生産基盤の強化と有効活用、更に、新たなブランド魚の創出や魚介類の安定供給体制の構築、加工品開発等の6次産業化を進めて付加価値の高い水産業を目指します。

1 担い手の育成・確保

- ・高齢化の進行による漁業者数の減少に対応するため、新規就業者の参入と担い手の育成・確保を図ります。
- ・漁業研修生や新規就業者の受け皿となる漁業経営体の強化を図ります。

2 漁業生産の拡大

- ・漁獲量の減少や漁獲される魚種の変化が生じている中で漁業生産を拡大させるため、生産基盤の整備、海面及び内水面における資源の増殖と漁場環境の改善、漁港の適正管理を図ります。

3 水産物の高付加価値化と消費拡大

- ・漁獲量が減少傾向にある中で魚価の向上や消費の拡大を進めて漁業収入を確保するため、ブランド戦略の推進、出荷魚介類の高付加価値化、低利用魚の消費拡大、一般家庭での魚食の普及、ふるさと納税制度を活用した販路拡大を図ります。

4 漁村の活性化

- ・漁村地域における高齢化や人口減少が進む中で、交流人口の拡大や地域の活性化に向けて、漁業と観光業との連携や公共施設活用の推進等を図ります。

施策の成果指標 ※第2次鶴岡市総合計画の水産の基本構想（成果指標）

項目	現状値 (平成27～ 29年度平均)	令和4年度 実績	成果指標 (KPI) ※ (令和10年度)
生産額	14 億円	12.7 億円	14.4 億円 ※当初目標値 17.0 億円
魚価	493 円/kg	569 円/kg	622 円/kg ※当初目標値 590 円/kg

※目標値変更理由

生産額については、燃料費高騰による出漁控えや海水温上昇、漁業者数減少等による漁獲量の減少、家庭での魚離れの進行などの現状を踏まえ、目標値を下方修正します。

〔 上記影響で減少した「令和4年度の実績」に「当初設定した各年の増加額0.29 億円」を加算して、令和10年度の目標値を14.4億円に下方修正します。 〕

魚価については、当初の想定よりも順調に進捗していることから目標値を上方修正します。

〔 漁獲量の減少や各種取組による需要増加等の影響で当初計画より順調に推移した「令和4年度の実績」に「当初設定した各年の増加額8.8円/kg」を加算して、令和10年度の目標値を622円/kgに上方修正します。 〕